

[新着情報]

武漢市、両型社会建設についての三年計画を制定、2011年までのGDP目標額は5000億元超

武漢市における両型社会（両型社会とは、資源節約型社会、地球環境にやさしい社会を指す）建設の計画についての骨格が固まった。昨日、武漢市政府常務会により「武漢市資源節約型及び環境友好型社会建設のための総合一体型改革試験実施案」及び「三年行動計画」が可決された。

32項目の改革を通して両型社会の実現を目指す

「三年行動計画」（2008 - 2010）の中から、8つの分野において具体的な内容については以下のとおり。

一、資源の節約及び環境保全の分野における改革を促進

- 1、循環型経済の発展メカニズムづくり
- 2、省エネ及び二酸化炭素排出削減の実施メカニズムづくり
- 3、環境保全に対する監督管理体制の確立
- 4、都市部における節電の全面的な実施
- 5、都市部における環境にやさしい建築物の設計、建築、使用の全面的な推進
- 6、ゴミの分別、回収、運搬、処理体制の確立
- 7、農村における太陽エネルギー、メタンガス、わらの総合的な利用を推進
- 8、長江沿い及び湖沿いにおける都市建設を推進

目標は資源の消費と環境に対する負担を最小限にし、最大限の効果をあげることを目指し、持続可能な都市の発展を実現することである。

二、産業構造の向上及び各分野の改革を促進する

- 1、ハイテク産業の急速な発展を進める
- 2、「両型」産業のモデル地区の発展を進める
- 3、産業パークのモデル地区の発展を進める
- 4、国における環境保全産業の重点基地を建設する
- 5、国家レベルの物流基地を設立する

目標は伝統的なモデルをベースにした新しい工業化への筋道を積極的に模索することである。

三、都市の計画、建設及び管理に関する分野の改革を促進する

- 1、都市の科学的かつ合理的な計画におけるメカニズムを確立する
- 2、都市建設及び管理についてのメカニズムを確立する
- 3、環境にやさしい公共交通の発展モデルを模索する

目標は、武漢の特色のある新型都市建設を推し進め、住み心地の良いまちづくりを進める。

四、都市と農村の経済発展を統一的に計画し、エリアの一体的な発展のための改革を推し進める。

- 1、新農村建設改革についてのモデル地区
- 2、都市及び農村地区の一体的な改革についてのモデル地区
- 3、都市と農村地区の調和のとれたメカニズムを建設

目標は、都市と農村の経済発展を統一的に計画し、エリアの調和のとれた発展において全国でトップランナーに極力なることである。

五、土地の集積利用及び財政金融支援分野についての改革を促進する

- 1、都市部及び農村部の土地管理制度の構造を改善する
- 2、地域金融センターづくりをスピードアップさせる
- 3、財務、税金についての体制についての改革を推し進める

目標は、両型社会の枠組みの中で、土地及び資金調整能力及び財税政策システムの強化を誘導し、支援することである。

六、規制緩和分野の拡大を進める。

- 1、海外との経済体制についての改革
- 2、港湾管理体制の改革

目標は、国外政策及び国内政策が調和した発展の道を模索することである。

七、公共サービス型政府を建設する

- 1、政府の行政管理体制改革を進める
- 2、国有企業改革を進める

目標は、政府における方針決定能力のレベルを上げ、法務行政能力及び行政効率に依拠した、サービス型政府の建設を速やかに行うことである。

八、社会発展及び市民生活の向上を促進する

- 1、創業を推進する
- 2、教育体制における改革を進める
- 3、医療衛生体制における改革を進める
- 4、文化教育体制における改革を進める
- 5、エコ商品の購入を促進する
- 6、両型社会建設におけるモデル事業を展開する

目標は、両型社会の建設により最大限の効果を市民に及ぼしかつその範囲を拡大する。

武漢市両型社会行動計画案を起草

近いうちに公開しパブリックコメントを行う。

武漢の3つの鎮でそれぞれ生ゴミ処理場を建設

「三年行動計画」に従い、「武漢市生ゴミ管理方法」が間もなく制定される。3年以内に漢口、武昌、漢陽においてそれぞれ一つの生ゴミ処理場を建設する予定。

年内に青山長江バンドを建設

三年以内に、青山長江バンドの建設を開始するとともに、漢陽、武昌の長江バンドの延長工事も行われる予定。「三年行動計画」の中で、漢陽長江バンド2期、武昌長江バンド4期、青山長江バンドの1期工事が行われ、治水及び環境の整備プロジェクトが進められる。

報道によると、青山長江バンドの工事は今年中に始まると、治水のための防波林や、木陰や水に触れあうことができる憩いの場ができる。計画では、青山長江バンドは完成後、全長8 kmとなり、1期工事では羅家港に第4道路ができる。

公共のレンタル自転車の利用が望ましい

バスから降りたら、安い値段で、あるいは無料で公共のレンタル自転車を利用することができる。このような場면을3年以内に武漢でも見るようになるだろう。「三年行動計画」において、「公共自転車のレンタルサービス実施についての研究」が提案された。

武漢市都市圏環境保護監督センターを設立

三年以内に、武漢市及び周辺の8市の範囲において、環境保全についての広域制度を制定し、都市圏環境保護監督センターを設立する。

武漢における現代的なまちづくりについて8つのキーワードで「両型」の特色を打ち出す

- キーワード1 循環経済の国家レベルのモデルを建設
- キーワード2 省エネと排出削減を実行するためのプロジェクトについての新制度を構築する
- キーワード3 環境保全において「国家モデル都市」を目指す
- キーワード4 電気とエネルギーの節約のために公共施設の温度を厳格にコントロールする
- キーワード5 ゴミを利用して発電する。9割のゴミを無害化し、処理する
- キーワード6 全ての公共バスにおいて天然ガスを利用し、地球にやさしいバスを目指す
- キーワード7 金融センターにおいて市債券を発行するように努力
- キーワード8 500億元の新たなハイテクプロジェクトを実施する。

市民が改革の恩恵を享受できるようにするための民政に関する5つの新たなポイント

- 1 教育方面、7割の中学生を良質の高校に通わせる
- 2 医療方面、惠民病院を設立し、病院にかかりやすい環境を整える
- 3 住宅方面、武漢市周辺において6つの居住エリアを設立し、住みやすい環境を作る
- 4 農村部の区画整理に伴い、換地を行うことにより、農民が鎮に住居を所有し、ワンランク上の生活を享受できる。
- 5 緑多くきれいな水が享受できる環境を実現する